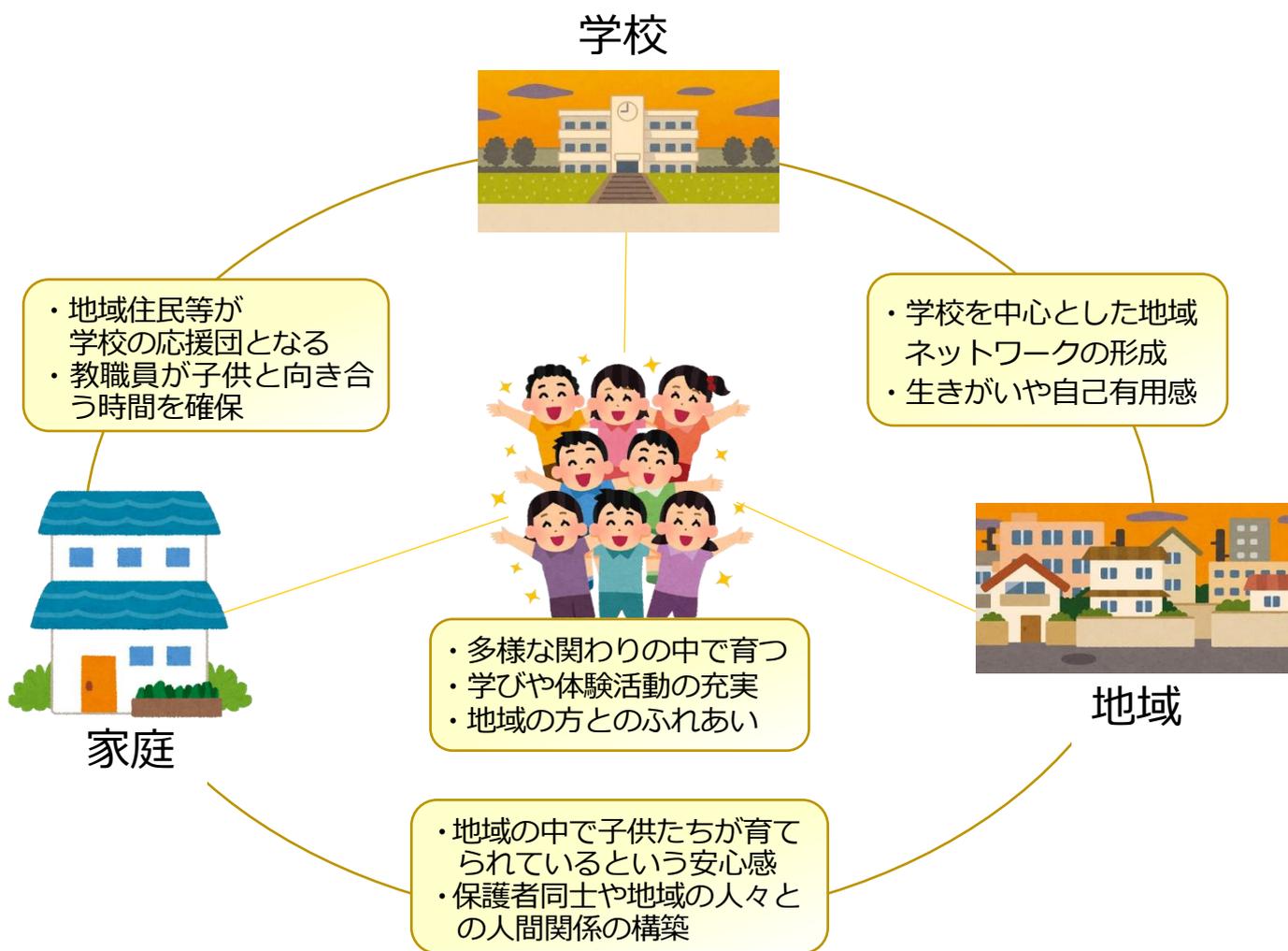


心を合わせて子供たちを育む

西宮型コミュニティ・スクール2020



西宮市教育委員会

コミュニティ・スクールって何？①

コミュニティ・スクールは「**地域とともにある学校**」です。

「**地域とともにある学校**」とは、保護者や地域住民等がめざすべき教育の**ビジョン**を共有し、目標の実現に向けて**協働**する仕組みのある学校です。

コミュニティ・スクールって何？②

コミュニティ・スクールは「**学校運営協議会**」を設置している学校です。

学校運営協議会の主な3つの機能

※すべて個人の意見ではなく**合議**による

- 校長が作成する**学校運営の基本方針の承認**をする。【必須】

承認することで目標を共有 Yes→Let'sへ「一緒に実現させましょう」

- **学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる。

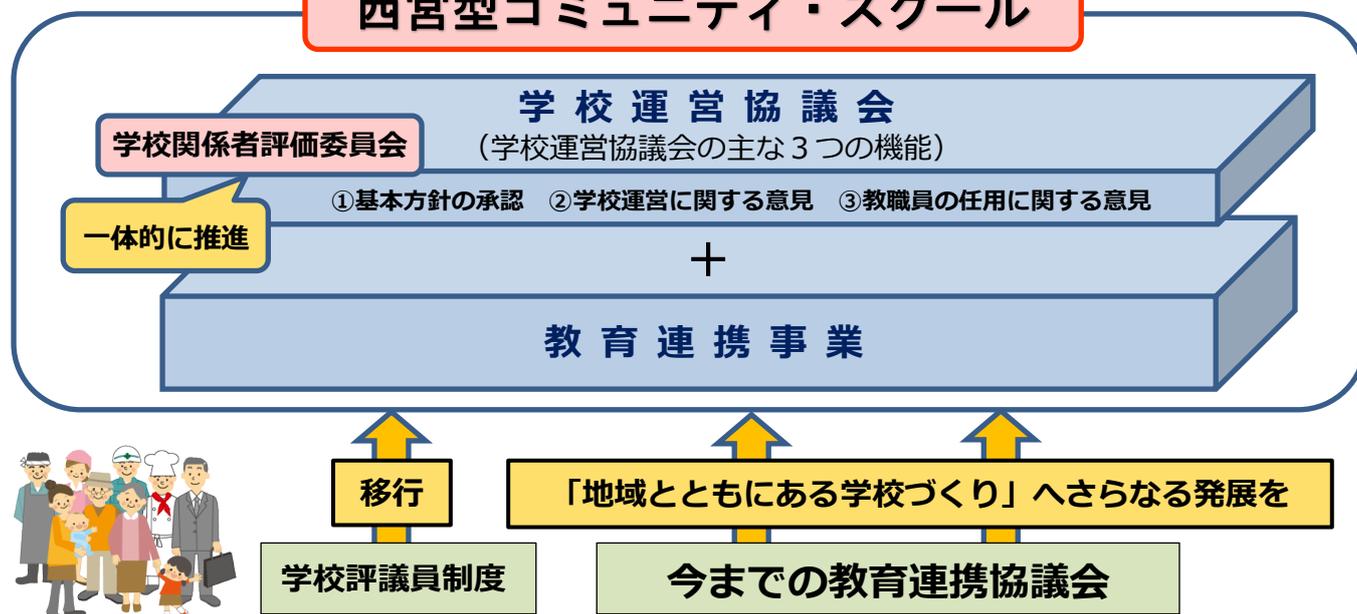
- **教職員の任用に関して**、①学校運営の基本方針を実現するための ②対象学校への配置を求める ③個人を特定しない **意見を教育委員会に述べる**ことができる。

※学校運営の最高責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

教育連携協議会から西宮型コミュニティ・スクールへ

西宮市が実施してきた教育連携協議会はコミュニティ・スクールの機能の一部をすでに実施しています。「地域とともにある学校づくり」を目指して**西宮型コミュニティ・スクール**へと発展させます。

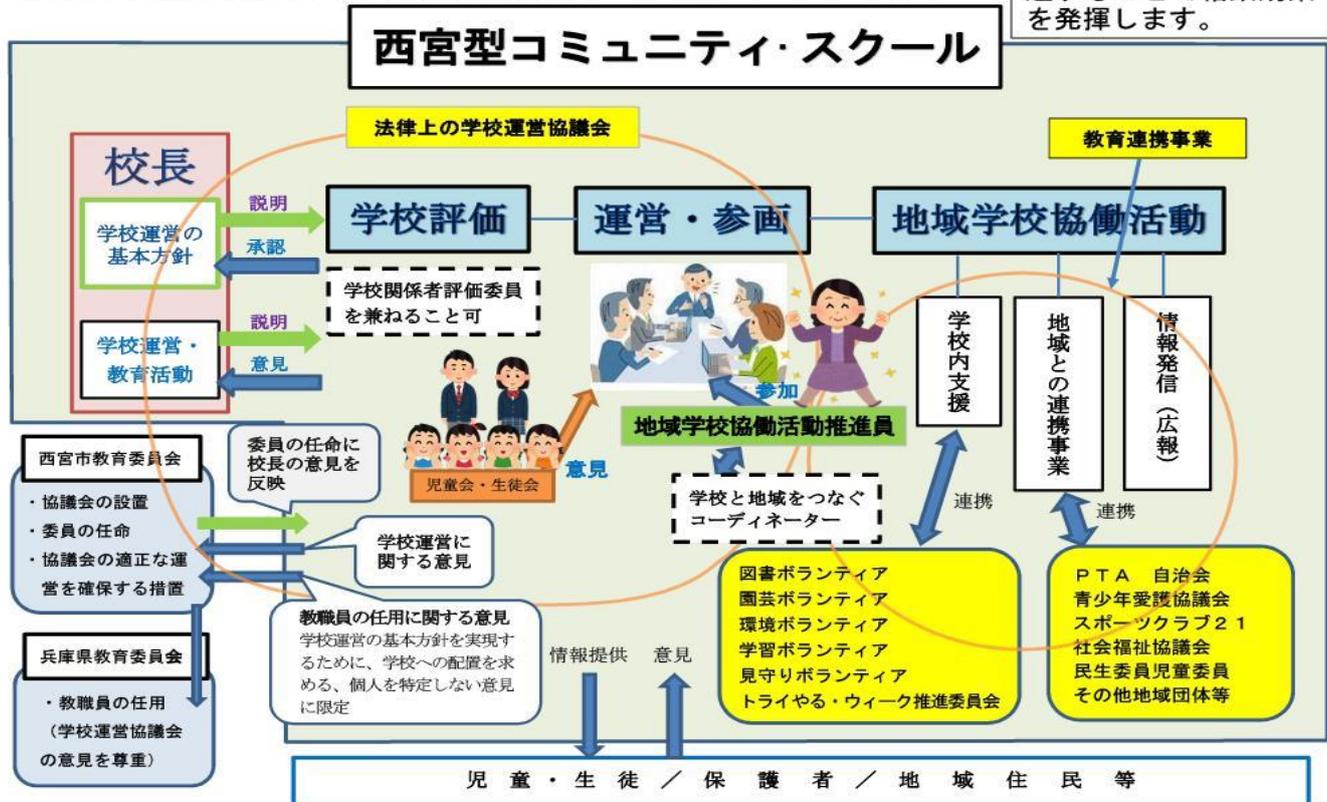
西宮型コミュニティ・スクール



西宮型コミュニティ・スクールの仕組み

西宮型コミュニティ・スクールは、「教育連携協議会」を法定の要件を備えた学校運営協議会に移行するものです。

学校運営協議会と教育連携事業を一体的に推進することで相乗効果を発揮します。



「学校運営協議会」の委員について

- ① 保護者（PTA代表）
- ② 地域住民
- ③ 地域学校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者
- ④ 対象学校の校長
- ⑤ 対象学校の教職員
- ⑥ その他教育委員会が適当と認める者（学識経験者等）

※保護者・地域住民等も教育の当事者となることで地域とともにある学校づくりが推進されます。

学校運営協議会委員は「非常勤特別職の地方公務員」です。教育委員会規則の定めにより守秘義務が課せられています。

委員は校長の推薦をもとに教育委員会が委嘱します。任期は2年で再任は妨げません。

地域学校協働活動推進員について

社会教育法第9条の7により教育委員会が委嘱してコミュニティ・スクールに配置します。学校運営協議会の会議の日程調整、会議開催案内の作成・送付、会議資料の印刷、会議録・広報誌の作成やホームページ作成、アンケート集計、学校運営協議会委員との連絡・調整などをします。また、学校と地域をつなぐコーディネーターとして、教育連携事業において地域との調整やボランティア募集・調整等も行います。学校運営協議会にも出席します。

パイロット校では、元PTA役員、元教員、地域団体・NPO役員、学校ボランティアの方々が委嘱されています。



会議から熟議への発展

西宮市の教育連携協議会では、児童生徒の様子について話し合ったり、学校評価を実施したりしています。しかし、これからは学校で、地域で、子供たちをどう育てるかを話し合うことが大切です。**テーマを焦点化して熟議へと発展**します。

【熟議のテーマ例】（パイロット校*で実際に行われたテーマから）

*パイロット校とは、令和2年度にコミュニティ・スクールを先行的に実施した11校を指します。

- ・子供たちがどう育ってほしいか
- ・コロナ禍で地域学校協働学習をどのように進めるか
- ・不登校の児童生徒に寄り添うために
- ・学校評価の項目の検討
- ・コロナ禍でなくなった生徒会の輝く場をどのようにつくるか
- ・地域学校協働学習で子供が主体的に学ぶためには
- ・子供たちを育むために何ができるか
- ・コロナ対策について
- ・子供たちのあいさつについて
- ・学校や地域の課題
- ・教職員の願い
- ・学力を向上させるには

「学校運営の基本方針」や「学校や地域の課題」を共有し、「**熟慮**」し、「**議論**」をする

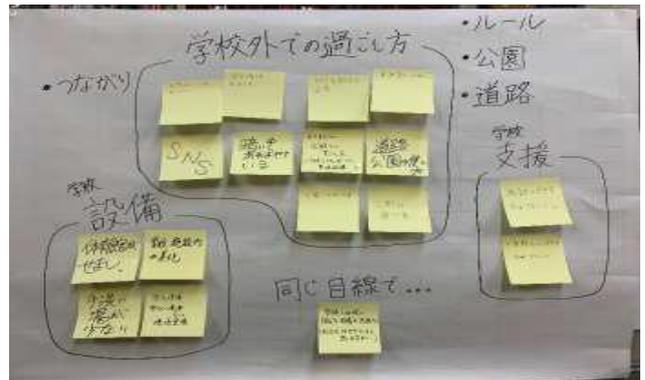


【熟議の実例①】 鳴尾北小学校学校運営協議会の設立準備に向けてのワークショップ

テーマ 鳴尾北小学校の学校や地域の課題



(2019年度撮影)



(2019年度撮影)

研修内容

保護者・地域住民・学校教職員が含まれた5～6名程度のグループに分かれ、KJ法を用いて現在、学校・地域の課題と思われる件について、単位化・統合化・図解化・文章化し共有する。

研修手順

- カードの記入（単位化）・・・付箋に学校の課題、地域の課題を記入する
- グルーピング（統合化）・・・付箋を小グループに分けて模造紙に貼り、タイトルをつける
- 並び替え（図解化）・・・並び替えてグループの相関関係を表す
- 言葉にする（文章化）・・・相関性が図示されたものを文章化する
- 共有・・・・・・・・・・・・・・・・各グループで代表が発表し共有する

【熟議の実例②】 用海小学校 「学校運営協議会の願い」

熟議の流れ

用海小学校 学校運営協議会の願い（「目指すビジョン」の共有）

「用海を好きになってほしい、用海を好きでいてほしい」

「子どもらしい子どもを育てていきたい」

「子ども達に用海を好きになってもらうために、用海を好きでいてもらうために」

「用海を子ども達の『ふるさと』にしてやりたい」

そのために・・・

地域の「人・もの・こと」に関わる体験をする場づくりを全学年でやりましょう

1・2年生 手作りおもちゃ・昔遊び

3年生 酒造りについての話、西宮の歴史についての話

4年生 盲導犬の話、アイマスク体験、車いす体験

5年生 エッチング教室（2019年度以前は和ろうそく作り）

6年生 お花体験



【熟議の実例③】 山口中学校 「部会制による熟議」

A. 学校評価部会



生徒からの評価を取り入れ、真摯に受け止めているのがすばらしい。保護者からの回答率を上げるにはどうすればいいか？

※このページの写真は2019年度以前に撮影されたものです。

個人懇談会で担任から個別にお願いするようにしてみました。

B. 情報発信・啓発部会／校内支援部会



ホームページに力を入れているが、たくさんの方に見てもらうにはどうすればいいのか？ 地域のホームページとのリンクを活用したい。

ホームページの今後のより効果的でタイムリーな活用について意見交流しました。

C. 教育連携事業部会／トライやる・ウィーク、地域ボランティア部会



今までずっと行ってきたボランティアだけでなく、他の団体から違う種類のボランティア要望があるが、どうすればいいのか？

伝統行事の担い手として、多くの子供たちが参加できるようにしていきたい。

社会に開かれた教育課程

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を共有

〈家庭や地域とカリキュラム（教育課程）を共有し、子供の志を支える〉

⇒そのために、すべての教職員・家庭・地域を巻き込んだカリキュラム・マネジメント（授業づくり）を確立し、家庭や地域と組織的・継続的な連携・協働体制を整えて実践につなげます。

例

熟議 1

学校運営協議会で目指す教育のビジョンを熟議
 (例)「地域を大切に、生きる力を身につけた子」を育む

熟議 2

そのためには、何が出来るかを熟議
 (例) 地域や地域の人とのつながりを実感できる体験的な学習を

熟議 3

「学校・家庭・地域の連携によるカリキュラム」について熟議

【実践例】 北夙川小学校 「地域等の教育資源を活用した総合的な学習の時間」

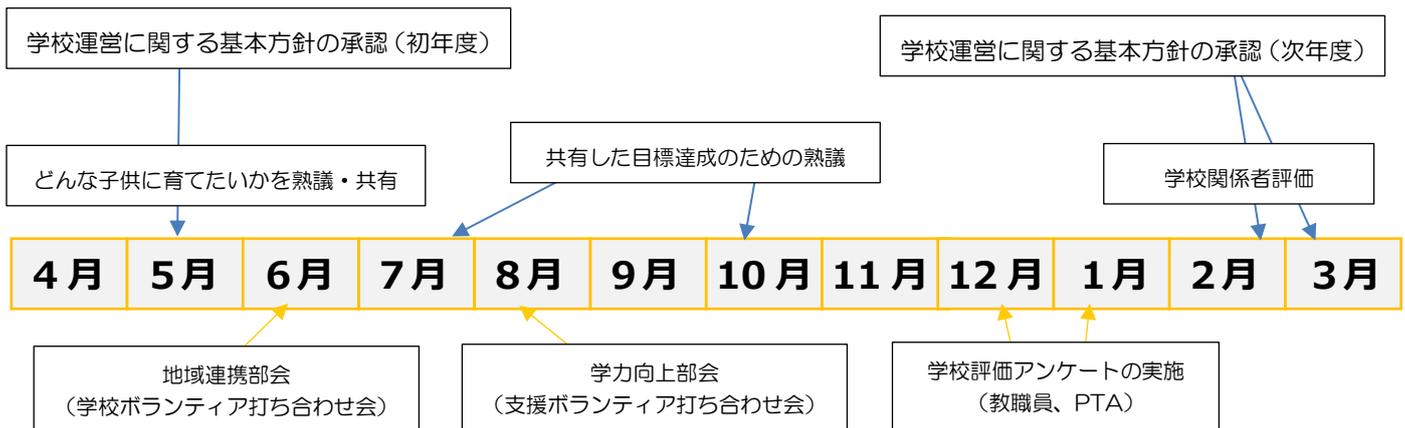
	1 学期 28h				2 学期 28h				3 学期 14h		
	4月⑥	5月⑧	6月⑧	7月⑥	9月⑥	10月⑧	11⑧月	12月⑥	1月⑥	2月⑧	3月
3年	夙川ウォッチング⑩ 夙川探検 防災避難安全課 環境教育 「越木岩の豊かな自然を 守ろう」 地域人材 ペア1①		町の宝を見つけよう⑨ だんじり見学 越木岩神社 地域教育 地域人材：学年 PTA で「盲導 犬」を学ぶ ペア2①		情報教育⑤		福祉教育 第一歩体験等→ 越木岩 の町の「カワ-めざして」 ペア4		(仮呼)みんな大事!⑩		
4年	エコロジストになろう⑩ +社会 バック-車見学 環境教育 「住みよい越木岩の町とは?」 ペア1②		セーフティ越木岩⑩ 防災教育 「地域の阪神線沿線 震災への備え」地域人材「自防校」 ペア2 準備のみ		人と未来防災センター見学 ペア3③		越木岩防災の日⑩ +社会 ペア4		情報教育⑧+		
5年	自然学校に向けて⑩ +学級活動 +道徳 (仲間づくり+キャリア) 人権 ペア1②		幼小保交流⑩ キャリア教育 情報教育(発信)⑩		音楽会、アトリエ ペア2① 準備のみ		ペア3③		ペア4		
6年	修学旅行に向けて、 +学級活動 +道徳 (平和+仲間づくり) 人権⑩ ペア1②		平和「伝えよう命の重みを」⑩ 情報教育⑤		町づくり「幸福論」⑩ 国語、社会と横断的 ペア2① 準備のみ		ペア3③		ペア4		

6年生 町づくり幸福論



※2019年度撮影

コミュニティ・スクール 1 年の流れ (例)



学校運営協議会と教育連携事業の一体的推進

西宮型コミュニティ・スクールは今までの教育連携協議会同様、学校運営協議会と教育連携事業を一体的に推進することで相乗効果を発揮します。

パイロット校の教育連携事業（地域学校協働活動） ※2019年度以前の写真も含まれています。

北夙川小学校



2年生町たんけん 校区内の28店舗・事業所等に協力依頼



ふるさと越木岩の歴史や伝統行事について学ぶ



上ヶ原南小学校



花を介してつながる 理科栽培支援 お花ちょうだいプロジェクト



田植え体験



稲刈り体験

上甲子園小学校



コロナ対応 児童用マスクづくり



コロナ対応 トイレ清掃サポート



環境整備サポート



門松づくり

用海小学校



3年生お酒造りの話



4年生車いす体験



5年生和ろうそく作り



6年生お花体験

南甲子園小学校



放課後キッズ（図書室開放）



放課後キッズ（ランチルーム開放）



放課後キッズ（校庭開放）



甲子園浜クリーン大作戦

鳴尾東小学校



地域・大学と連携 地域に伝わる鳴尾イチゴを学び栽培



鳴尾イチゴ復活させ隊 ～鳴尾イチゴ10000株計画！～



鳴尾北小学校



コロナ対応 1年生給食サポート



コロナ対応 1年生下校サポート



ビオトーイベント

大社中学校



地区別（小学校校別）生徒集会（5校区）



地域ふれあい清掃（大社地区青愛協）夙川河川敷



学文中学校



安全管理ボランティア



地域と連携した防災教育



コロナ対応 防災クロスロード



地域の方とDIG研修

山口中学校



地域の絆を深める「さくらまつり」



伝統文化の継承 公智神社 雅楽・神楽の授業



伝統文化の継承 しめ縄づくり

西宮浜義務教育学校



校歌・校章募集、制定



あいさつフェスタ



マリナワーク



マリナふれあいマラソン

西宮型コミュニティ・スクール導入計画

- ① 令和2年度（2020年度）より、パイロット校を指定し運用方法などを検証しています。
- ② 令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）で順次設置します。
- ③ 令和5年度（2023年度）には、市立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校のすべてにコミュニティ・スクールの導入を目指します。



（問い合わせ先）

西宮市教育委員会地域学校協働課

〒662-8567 西宮市六湛寺町3番1号

TEL:0798-35-3868 FAX:0798-36-1208